

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 通学合宿 みんなで学ぶ『子ども村』
-------------------	--------------------------------

区分	番号	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出
小分類	1	自然環境運動の拠点づくりと人づくり
主要な施策	1	体験的自然環境学習の場の充実
事務事業番号	003	事務事業コード 22111003 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	通学合宿 みんなで学ぶ『子ども村』
------	------	------------	-------------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>親元を離れて子ども達の力で共同生活をしながら学校に通い、子ども達の自主性・協調性や適応能力を伸ばし「生きる力」を身に付けさせるとともに、学年間交流や学校間交流を推進することを目的とする。</p>
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <p>ネイチャーセンター「ふおれすと鉱山」で支援ボランティアと生活をともにし、家事をはじめ自然体験や学習活動をしなが、学校へ通う「通学合宿」を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の小学校を2地区に分け、前期（5～6月）後期（9～11月）1回につき4泊5日の日程で4回実施する。（学校とネイチャーセンター間の送迎は、バスを借上げる） ・実施にあたり、実行委員会を組織し委託契約を締結することとし、モモンガくらぶによるプログラムや婦人団体による生活支援、大学生ボランティアの派遣による生活・学習支援等の協力を受けて事業を運営する。 ・参加者からは食事等の実費負担として参加料を徴収する。
成果	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>子ども達の自主性・協調性や適応能力を伸ばし「生きる力」を身に付けさせることとともに、学年間交流や学校間交流を推進することができた。 また、「学習及び読書の時間」を設定したことにより、自主学習の習慣づけや学ぶ楽しさを知ってもらう機会とすることができた。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffff00; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> <p>通学合宿事業実施要領</p>

指標の推移

成果指標	区分	単位	区分	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	26年度目標
			目標値	実績値	実績値	実績値	実績値	
	参加者数（延べ）	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	75				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円	500		500	500		1,000
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	946	1,060	560	560	1,060	2,180
合 計			1,446	1,060	1,060	1,060	1,060	3,180
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	1,343	1,383			
		嘱 託 員	千円	188	203			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		1,531	1,586			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 事務事業の成果が着実に上がっており、参加者及び保護者からも高い評価を頂いている。また、学生ボランティアの参画により事業が更に充実し、学習の点でも成果が見られるようになってきた。ただし、民間団体・NPOでの事業実施も検討の余地はある。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ H22年度から大学生によるボランティアスタッフの協力が得られ、生活・学習両面で事業内容が充実してきたことなどから、参加者・保護者ともに満足度が非常に高くなってきた。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ H22年度、大学生ボランティアの参画により大きく事業成果が向上した。今後も大学生ボランティアスタッフを積極的に募集・受入すると同時に、新たな学習ツール等を活用して成果を向上させたい。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 委託料の大半が安全管理の報償費と児童送迎の借上バス料であるため、削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	共同生活をしながら通学することにより、子どもたちの自主性・協調性や適応能力を養い、「生きる力」を身に付けさせることができる。また、合宿生活により学習習慣の定着を図ることで学力向上に繋がる可能性があるため、新たな学習ツールを活用する等、事業の充実を図りながら継続したい。 なお、平成23年度実施をもって明日のまちづくり特別枠事業としての実施は終了とする。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）